

【活動の主題】 つなぐ・つながる 学校図書館

【副題】 ～地域とともに「三方よし」をめざした図書館教育～

【学校名】 東近江市立市原小学校

1 本校の概要

市原小学校は、滋賀県の南東部、東近江市の永源寺地区に位置する。全校児童は76名。家族のような小規模校の良さを生かした様々な取り組みや、地域の皆さんの学校への熱い思いと支援を得て、子ども達は、充実した毎日を過ごしている。

長年受け継いだ合言葉は「地域とともに」。学校図書館を地域連携の場として、地域の皆さんと一緒に、「市小版三方よし」【「子どもよし（交流・体験で深まる学び・豊かになる読書活動市原の魅力発見！市原ってすごい!!）」「大人よし（子どもと・学校とつながる楽しさ・生きがい・やりがい）」「地域よし（学校へのかかわりを通して子どもも大人もつながる地域）」】をめざした図書館教育に長年取り組んできた。

2 取り組んだ内容

(1) 地域と連携した読書活動

①毎週木曜日は「さわやか読書」

- ・全学級でボランティア企画による読み語りやブックトーク等の読書活動

②地域がつながる「市小読書祭り」

- ・ボランティア・学校司書・公共図書館司書による読書イベント

③親と子が読書でつながる「親子読書」「親子学校図書館開放」

- ・毎月1回親子読書にチャレンジ。親子読書の場として学校図書館を開放。
- ・親子読書の種類(一緒に・保護者→児童・児童→保護者・本をもとに料理や工作等)を例示した「親子読書カード」を配付。「親子読書カード」での報告内容を毎月発行の図書館だよりで全校に紹介。親子読書の体験の輪を全校に。図書館だよりをきっかけに新しいチャレンジも。

④地域とともに。学校図書館を地域の方との交流・地域の文化を体験・発信する場に

- ・地域の方と一緒に活動。学習成果を地域に発信。
- ・学校図書館では関連図書の紹介や学習の支援。(絵手紙体験・江州音頭・豆腐作り・しめ縄体験・和楽器鑑賞・ホテルマップの作成・昔遊び・田んぼの学校・市原学区 PR&防災マップの作成等)



学校図書館を学びと発信の場に～市原学区 PR 大作戦～

⑤地域公共図書館と地域中学校区内の各小学校学校図書館の担当者が協議し、定期的に連携イベント実施

- ・公共図書館と各小学校学校図書館のおすすめ本を各館で紹介・スタンプラリー・共同作品作り

(2) 学校図書館を活用した授業づくり

①学校図書館を学びの場に

- ・学校図書館の授業活用の具体について、学校司書が講師となり校内研修を実施
- ・年間指導計画や学校図書館活用計画をもとに授業をデザイン。また実践を交流。

②学びの幅を広げる本に出合うしかけ作り

- ・各学年の学習進度を確認し、関連図書が子どもたちの目につく場所に常にあるよう「ポップに・タイムリーに」を意識して本を展示。学校図書館とは別に、教室のそばにもミニ読書コーナーを設置。手に取りたくなる工夫を心がける。

③学校司書が授業に参加

- ・児童が課題追求のため、図書資料やインターネットを上手に組み合わせ資料を収集したり集めた資料を比較したりするための手立てとして、パスファインダーや情報カードを活用。学校司書も授業に参加し、支援や助言を行う。

3 活動の成果

- ・学校図書館が児童にも地域の方にもより身近な場に。読書と学び、交流の拠点に。
- ・地域や学習内容への関心が高まり、様々なジャンルの本と出会い、読み進められた。
- ・学校図書館を活用した学習が日常のものとなり、児童が図書資料やインターネットを活用した情報検索や情報の整理・分析に親しみ、自身が学習した成果を自信をもって発表できるようになった。

〈令和8年度文部科学大臣表彰

「子供の読書活動優秀実践校」受賞〉